



Rokko Catholic Church Bulletin

カトリック六甲教会 教会報

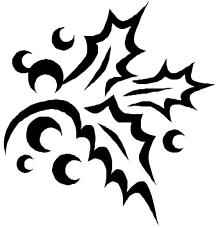
2013

12

No.504



待降節にキリストの再臨を思う



ダニエル・コリンズ神父

待降節中のミサの福音朗読では、洗礼者ヨハネについての箇所が多く読まれます。ある意味で、洗礼者ヨハネが待降節の中心人物の一人であると言えるでしょう。

洗礼者ヨハネの使命は、主の道を整え、民衆に待望されるメシアを迎える準備をすることでした。準備をするからには、何がいつどこでどのように起こるか、どなたが来られるかを知っているはずですが、洗礼者ヨハネ自身もはっきりとどなたがメシアなのかわかっていなかったようです。実際、「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。」（マタイ 11:2-11）とイエスに尋ねています。

洗礼者ヨハネが、メシアがどなたであるかわからずに、その方がいつどこにどのように来られるのかも知らずに、その方を迎える準備をしていることを私はいつも不思議に思いますが、この状況は現在のわたしたちと同じだといえるのではないのでしょうか。

私たちが今待ち望んでいるのはキリストの再臨です。しかし、キリストの再臨が確実にやってくると確信していても、実際にはわたしたちにはそれがいつ、どこで、どのように起こるのか分かりません。キリストの再臨に向けて準備をしていても、何も分からないだけに、畏怖の念を抱いてしまうかもしれませんが、わたしたちはキリストに愛され、赦されている者ですから、恐れることはありません。

待降節は、約 2000 年前のベツレヘムの夜に思いをはせ、神の子の最初の来臨、つまりキリストの降誕のお祝いの準備をする期間ですが、その準備を通して、キリストの再臨に新たに心に向ける期間でもあります。キリストがいつ再臨されてもいいように、待降節に限らず私たちはいつも準備をしていなければなりません。待降節の期間はより一層希望を持って心の準備をしましょう。





新シリーズ

「何でも知っとこ」(9)

“列福・列聖について”

主任司祭 松村 信也

カトリック教会には、カトリック特有の教会暦というのがあります。毎年移動するご復活祭（イースター）や固定しているクリスマスがよく知られていますが、その他、聖人や福者（つまり、聖人の位、福者の位に上げられた人）たちの祝日もあり、ミサ（礼拝）の時に諸聖人・福者を記念しお祝いします。聖人・福者はどのようにして決められるのでしょうか。

列福、列聖とは、殉教または敬虔な生涯を送ったために、崇敬を受ける人たちです。福者とは、聖人にあげられた人のその前の位の人です。また聖人には、殉教者（赤のバラを飾る）と証聖者（白のバラを飾る）がいます。

殉教者については、前回掲載したように、最後までキリストの苦しみを自分の苦しみとして「信じ」ぬいた人たちです。証聖者とは、殉教していないが、キリストをご自身の生涯とおして証した人たちです。しかし、誰でも成れるというわけではありません。先ず、バチカンの列聖省に申請し、列聖省が調査を宣言した後、以下のような調査手順で始められます。

- 1) 調査申請：ある人が亡くなり、この人は聖人だった、教会で公に聖人として認めて欲しいと思う人や団体は、その願いを教皇庁列聖省に届けます。（以前は典礼聖省）列聖省には全世界から申請書が提出されており、それらを調べ、列聖の前段階である列福に、その人が値する人であるかどうかを調査します。正式に調査を始めると決まった人は、列聖省が「今からこの人の調査を開始します」と宣言したときから、申請された人は「神のしもべ・神のしもめ」と呼ばれます。
- 2) 調査第一段階：列聖調査の管轄権は、通常、聖人だと思われる人が亡くなった場所の教区司教です。必要な書類をそろえて列聖省に提出（大変な作業）。細かい生涯の記録、証言など。音声、ビデオ、映像など、その方は活躍した地方で尊敬されているかどうか、多くの人がその人に取り次ぎを求めて祈ったりしているかどうか、その人を知っている人が現存しているか、その証言はなどなど。
- 3) 調査第二段階：提出された書類だけでなく、現地調査もあります。墓と遺体の調査。この調査が終わった段階で申請した人は「尊者」と呼ばれます。
- 4) 欠かせないこと：「奇跡について」→殉教者の場合、列福のために奇跡は必要ありません。しかし、列聖の場合は、その人の取り次ぎによって引き起こされた一つの「奇跡」が必要です。また、証聖者の場合は奇跡が列福においても、列聖においても必要となります。（医学的調査、その他種々の調査実施）したがって、列聖省には、医事委員会、歴史委員会、神学委員会を経て、最終列聖省委員会で審議されます。
- 5) 調査第三段階：列聖省の専門委員会に、ポストラトル（申請者代理人）をとおして申請の準備を行います。その後、列聖省枢機卿委員会の会議での審議をうけます。そして最終審査は、教皇にあります。教皇が「列福の教令」にサインしたとき、その時初めて申請者は、列福者となります。さらに列聖も同じ調査手順で行われます。

忘れないで！

～東日本の被災地から～

福島を訪ねて

永年私は東北地方の平泉や松島などを観光したいと思っていました。二年前の東日本大震災で観光旅行など出来る状況にはなく、さりとてボランティアにはとても足手まといになるばかりの年齢になり内心悶々としていました。だけどニュースをいろいろ聞くうちに、とにかく一度行ってみたいと思うようになりました。

この春親しくしていただいた Sr. 小沢が福島の前原町に赴任されたのを機に、その思いはますます募り東北を訪問する計画を立てました。計画を立ててみて関西育ちの私の東北に対するイメージが如何に貧弱だったかを知りました。

まず、エリアの広さでした。自動車を運転しない私たちが、釜石を尋ね、大船渡に寄り、前原町を巡りなどと計画を立てようとしたらとても時間的にも経済的にも難しいことが分かりました。本棚に昔の秋田・青森・岩手の県地図はあったのですが、宮城・福島の県地図は今や本屋さんにもないし、交通の回復はまだ十分ではありません。仙台を拠点にバスと JR を使ってようやく前原町に着任されているシスターをお訪ねすることができました。

振り返ってみると、今回の旅は本当に勉強の旅だったと思います。東日本の災害は阪神淡路の体験者である私たちの想像をはるかに超えたものでした。しかし、仮設住宅などにも今までの被災の経験から若干の工夫がされ、一部では再建への明るい兆しも見て取れました。ところどころには真新しい住宅も見え人々の力強さも垣間見られます。

ところが、原発の影響を受けている放射線被災地区は全くの手つかずでした。一面に夏草は伸び、海から押し上げられた船や放置された自動車、被害そのままの学校の建物、道路には我が物顔の猪、その荒れ果てた地に亡くなった方々の冥福を祈る新墓碑や卒塔婆と供花。案内して下さったカリタスの方に「これから線量計の数値が上がりますよ」と言われ、風向きや地形によって放射線量が変わることを意識させられました。わずかな滞在と見学の時間でしたが、これから先の希望が見えない現場に住む人たちに、私たちはどのように寄り添えばよいのか、何が間違っていたのか深く考えさせられました。

福島の後に訪問した地は、自然の中に静かな佇まいを見せる毛越寺と中尊寺でした。自然そのものの美しさを見せる松島も福島の現状とは様変わりです。本当に眩しいようでした。平泉では当時の権力と黄金の力が今や削がれ、美しさと匠の技が際立っていました。イエス様の指摘ではないと思いますが、何となく「不正にまみれた富で友達を作りなさい」の言葉を思い出しました。

自然そのものの美である松島を観光しているときに、「あの沖の島を越えて津波が来たのですよ」と言われその波の高さを実感しました。

私たちは自然とどのように暮らしていくのか？技術過信によってすべての自然をコントロールしているような傲慢さを深く反省させられました。技術偏重、経済第一、出世主義ではなく、「生かされている私たち、互いに愛し合いなさい」をつくづく実感した短い旅でした。みなさまぜひ機会を作って東北を訪問してみてください。私たちに今できることとして皆さんにどうしても分かち合いたいと思いこの文章を投稿しました。

(Y. 藤原)

私たちの東北旅行は夫の喜寿の記念の観光旅行を兼ねたものでしたが、Sr. 小沢のお世話でカリタス前原町ベースの方々や復興商店街で働かれる方々と言葉を交わし、笑顔に接したとき緊張が取れて心も緩んでホッとしました。

しかし、浪江町の瓦礫の山々、荒れ果てた町を見ると涙が止まりません。そしてあの笑顔の下に隠された悔しさ、大切な方を亡くした悲しみ、無念さが手に持つ線量計の重さにずっしりと伝わってきます。緑豊かな美しい自然、畑の緑、滔々と流れる清らかな川の流れを目にしますと、神様がわたしたちに与えて下さったこの自然の恵みを大切にしなければという思いがふつふつとわきあ

ありがとうございました。

(大掃除チーム 託)

<行事報告>

『チャリティーバザー』(11月10日)

バザー企画を担当して

地区会がバザーを担当するようになって3年目を迎えました。今年もテーマは「愛を届けよう」です。9月中旬から準備を始め、今年の主な手作り食品は、カレー、かやく御飯、豚汁と決め、各担当の地区を決めさせて頂きました。台所使用の時間配分、チラシや食券の印刷、そして販売等、準備することはいっぱいです。当日のお天気を願いながら、各地区とも準備を進めて下さいました。



バザーの前日、10日の天気予報は突風・雷雨と最悪です。この所、続く雨のバザー。会場設営は雨バージョンで準備することにしました。バザー当日、少し雨は残りましたが、ミサが終わった頃には雨もあがり、ホッとです。お客様の出足は早く、門の所には行列も出来ていました。開店と同時に食事をする方もいらっしゃったり、どの会場もすぐにいっぱいの人で埋まりました。

各地区とも、たくさんの方がお手伝い下さり、無事に楽しく終わることが出来ました。お買い上げに協力して下さい下さった方々にも感謝致します。また。人目につかない所で、外側のコンロを片付けて下さったり、使用した大量の布巾類を持ち帰り、洗濯して下さい下さったりといろいろな支えと働きがあったのバザーでした。今回のバザーと一緒に担当しましたのは、灘北2地区の佐藤寿延さん、灘西地区の江本佐和子さんです。

バザーのテーマ「愛を届けよう」は皆様のお蔭で、いっぱいの愛を届けることが出来ます。本当に有難うございました。

神に感謝。

(灘北1地区 福島)

<行事報告>

『七五三祝福式』(11月17日)

11月17日10時のミサ中、松村主任司祭及びサレジオ会岡本神父によって、七五三の祝福式が行われました。

神さまの愛を一身にうけ、人に仕えることができる大人に成長してください。



<行事報告>

『宣教部 秋の黙想会』(11月23日)



11月23日(土)、六甲学院生徒研修所において、イエズス会の赤松廣政神父様のご指導のもと黙想会が行われました。今年が信仰年ということで春の黙想会と同様「信仰」をキーワードに、旧約聖書にみる「信仰に生きた人たち」をテーマに神父様より講話をお聞きし黙想しました。

参加者は30名ほどでした。特に午後のセッションでは旧約聖書のヨブ記を読み、試練や苦しみの意味について黙想しました。

(宣教部コーディネーター 佐久間)

★墓地っ子だより★



11月3日 教会のお墓参りが行われました。生憎の霧雨でしたが多くの方々の参加でした。

納骨が約10体、刻銘者（含む生前刻銘）が40名以上でした。この数は、子供に迷惑をかけたくない、後継者がいないなどの世情を反映するものでしょう。

さて、共同墓地にはどの季節にも花が咲くようにハーブを植えました。そして、通路の整備、空地への植栽などで冷たい墓地から暖かい潤いのあるお墓に変わりつつあります。

どうぞ、月に一度はお越してください。

（墓地委員会 SF）

～．

♪♪♪♪ 第12回 クリスマスコンサート ご案内 ♪♪♪♪

開催日： 2013年12月8日（日）
 時間： 13時30分～
 （開場 13時）
 場所： カトリック六甲教会主聖堂
 入場料： 無料
 どなたでもご自由にお入りください
 指揮： エリック・コロシ
 出演： 声楽アンサンブル カメラータ神戸
 ゆりかごの会、カトリック六甲教会有志、
 一般有志、メサイア室内楽アンサンブル
 曲目： クリスマスキャロル、メサイアより（ヘンデル作曲）



クリスマスコンサート実行委員会

～．

第55回神戸市民クリスマス

キャロリング in KOBE 「こころをむすぶクリスマス」

聖句： 「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった」

ヨハネによる福音書1章4節より

日時： 2013年12月20日（金）

- | | | | |
|---|----------|-------------|-------------|
| 1 | キャロリング | 17:20～18:40 | 北野コース・元町コース |
| 2 | こどもプログラム | 17:30～19:30 | 神戸栄光教会 |
| 3 | ほっとタイム | 18:00～19:15 | 〃 |
| 4 | 祈りと祝福のとき | 19:30～20:30 | 〃 |
| 5 | 青年のつどい | 20:30～21:30 | 〃 |



六甲教会は北野コースの担当です。みなさまのご参加をお待ちしています。

目ごとの索引が掲載されて読みやすく工夫されています。

前教皇ベネディクト16世の前書きから引用します。

…このカテキズムを学んでください。これは、わたしの心からの強い願いです。…情熱と忍耐をもって学ぶように皆さん、お願いいたします。そのための時間を作ってください。自室で静かに学んでください。友人と一緒に読んでください。勉強会を開いたり学びのネットワークを造ったりしてください。インターネットを通して互いに分かち合ってください。あらゆる方法を用いて、信仰について互いに語り合い続けてください。…

本文の Question（全 527 問）からいくつか引いておきます。

なぜ神さまはわたしたちを創造されたの？／聖書に書いてあることは本当なの？／マリアは神の道具にすぎなかったの？／なぜイエスは奇跡を行ったの？／「聖霊」ってだれのことなの？／教皇は本当に間違っていることはないの？／地獄ってどこにあるの？／ふさわしくない人が執行する場合、秘蹟に効力はないの？／日曜日はどれくらい重要な？／洗礼って何？／信仰って何？／なぜ教会は死刑に反対するの？／性は愛とどんな関係があるの？／教会は民主主義についてどうしているの？／祈ることは現実逃避ではないの？／なぜ「アーメン」で主の祈りを終えるの？／

～．～



みんなの広場

無原罪の聖母

三好

12月と言えば騒々しい「クリスマス」、よくて「ご降誕祭」。そのご降誕祭に先立つ12月8日に「無原罪の聖マリア」が祝われる（今年は8日が待降節第2主日に当たるため翌9日に祝われる）。神がアダムとエバにされた約束、人類への約束が人類の中に現実となる最初、それはおそらくマリア様ご自身もご存じではなかったであろう「無原罪のお孕り」であった。

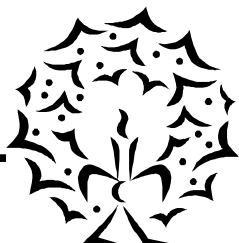
そして時が満ちたその夜、数人の貧しい羊飼いだけが「見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った」（ルカ2：20）。羊飼いたちが馳せ参じた同じ主は、今も聖櫃の中におられる。そして今その前には誰が？

この日は嘗て「童貞聖マリア無原罪の御孕り」の大祝日とされていた。今の原典がどうなっているかは知らないが、この二つの表現は日本語では意味が違うのではないか。

教会博士アキノの聖トマや多くの神学者たちが認め得なかった「無原罪の御孕り」が誤りない事実だと明らかにされたのは1854年12月8日、教皇ピオ9世によってであった。この教義は教皇が公会議を経ず単独で宣言した最初の教義だといわれる。このピオ9世が招集した第一バチカン公会議はまた教皇の不可謬権が誤りない教義であることを宣言した公会議であった（鈴木宣明、ローマ教皇史、教育社歴史新書1980年）。余談だが日本26聖人を列聖したパパ様は同じピオ9世であった。

この教会の保護者は「無原罪の聖母」。わたしたちもイエズス様がそうであったように“その時”までマリア様に育まれていることを忘れまい。時には“ママ”にお尻を打たれながら。Ma t e r D e i、e t M a t e r m e a。

カトリック中央協議会のサイトに、パパ様の10月23日、22回目一般謁見での「教会の似姿であり模範であるマリア」という説教が掲載されていた。是非読んでおこう。このサイトにはパパ様の説教が抄出ではなく全文翻訳掲載されている。（終）



2013 年クリスマスと 2014 年元旦ミサの時間について

12 月 24 日(火) 主の降誕 (夜半のミサ)

16 時 30 分、19 時、21 時 (海星病院 17 時)

キャロリング 19時ミサの前: 18:30頃 ~

21時ミサの前: 20:30頃 ~

12 月 25 日(水) 主の降誕

7 時 (早朝のミサ)、10 時 (日中のミサ)

1 月 1 日(水) 神の母聖マリア

0 時、7 時 30 分、11 時



事務所年末年始休業のお知らせ

六甲教会事務所 2013 年 12 月 26 日(木)~2014 年1月 4 日(土)

大阪教区事務局 2013 年 12 月 28 日(土)~2014 年1月 6 日(月)

教会報1月号の発行は、12 月 29 日(日)です。

編集会議 12 月 22 日(日)です。

記事原稿は、12 月 15 日(日)正午までに信徒会館
受付へご提出願います。 (広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ	ト	リ	ッ	ク	六	甲	教	会
〒	6	5	7	-	0	0	6	1
神	戸	市	灘	区	赤	松	町	3-1-21
電		話	0	7	8	-	8	5
F	A	X	0	7	8	-	8	5
発	行	責	任	者	松	村	信	也
編	集	広	報	部				